



Synology DiskStation DS213air

クイックインストールガイド

目次

章 1 : はじめる前に

パッケージの内容	3
SynologyDiskStation の外観	4
安全のしおり	5

章 2 : ハードウェアの設定

ハードディスク取り付け用のツールと部品	6
ハードディスクの取り付け	6
DiskStation を起動する	8

章 3 : DSM を DiskStation にインストールする

Web ブラウザから DSM をインストールする	9
インストールディスクから DSM をインストールする	11
DiskStation でワイヤレス設定を行う	16
詳細情報	16

付録 A : 仕様

付録 B : LED 表示表

はじめる前に

DiskStation の設定を始める前に、次のアイテムがパッケージに含まれていることを確認してください。
また、DiskStation を破損しないよう、ご使用になる前には必ず安全のしおりをお読みください。

パッケージの内容

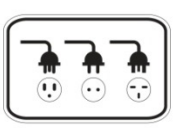
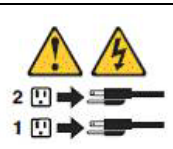
本体 1 台		AC 電源ケーブル 1 個
		
		AC 電源アダプター 1 個
		
		RJ-45 LAN ケーブル 1 個
		
ハードドライブ用ネジ 10 個	Synology ケース固定用ネジ 3 個	インストール用ディスク 1 枚
		

SynologyDiskStation の外観



番号	名前	位置	説明
1)	LED インジケータ	フロントパネル	LED インジケータは、内部ディスクまたはシステムの状態を表示するのに使用されます。詳しくは、18 ページの「付録 B：LED 表示表」を参照してください。
2)	電源ボタン	フロントパネル	電源ボタンは SynologyDiskStation の電源をオンまたはオフにするのに使用されます。 SynologyDiskStation の電源をオフにするには、電源ボタンを警告音が鳴り電源 LED が点滅するまで押し続けます。
3)	ファン	バックパネル	ファンは SynologyDiskStation から余熱を排気するための構造を持っています。ファンが故障した場合、システムは数秒ごとに音を鳴らします。
4)	USB ポート	バックパネル	SynologyDiskStation には、増設外部ハードドライブ、USB プリンタ、またはその他 USB デバイスを追加するための USB ポートがあります。
5)	Wi-Fi ボタン	バックパネル	Wi-Fi ボタンは Wi-Fi をオン/オフにしたり、Wi-Fi Protected Setup(WPS)などのワイヤレス設定を構成する時に使用します。
6)	LAN ポート	バックパネル	LAN ポートは、RJ-45 ケーブルを SynologyDiskStation に接続します。
7)	RESET ボタン	バックパネル	1.admin アカウント用の IP、DNS、パスワードをデフォルト値に復元します。 2.SynologyDiskStation を再インストールします。
8)	電源ポート	バックパネル	電源ポートは、AC 電源アダプターを SynologyDiskStation に接続します。

安全のしおり

	製品は直射日光から避け、化学薬品の近くに置かないでください。温度や湿度が急激に変化する環境は避けてください。
	Synology 製品は液体の近くに置かないでください。
	掃除を行う場合は、必ず電源コードを先に抜いてください。湿らせたペーパータオルで Synology 製品を拭いてください。掃除には、化学薬品またはエアゾール洗剤を使用しないでください。
	落下を防ぐため、不安定なカート、テーブル、机などの上に Synology 製品を置かないでください。
	電源コードは適切な電圧に差し込んでください。AC 電圧の供給が正しく安定していることを確認してください。
	デバイスへの電力供給を完全に停止するには、電源からすべての電源コードを外してください。

CAUTION
RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED
BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING
TO THE INSTRUCTIONS

ハードウェアの設定

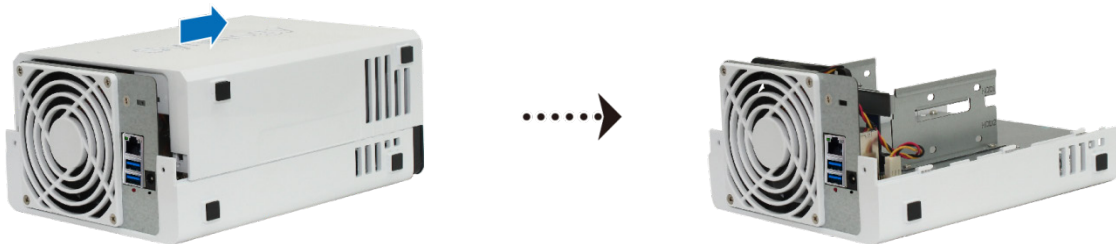
ハードディスク取り付け用のツールと部品

- ドライバ
- SATA ハードディスク（3.5 または 2.5 インチ） 1 台以上
（ハードディスクの互換性については www.synology.com を参照してください。）

警告： データが保存されているハードディスクを取り付けると、システムはハードディスクを初期化してすべてのデータを消去します。将来そのデータが必要である場合は、インストールする前に必ずバックアップを行ってください。

ハードディスクの取り付け

1 下に示す方向に上ケースを押します。上部ケースを持ち上げて外し、脇に置きます。



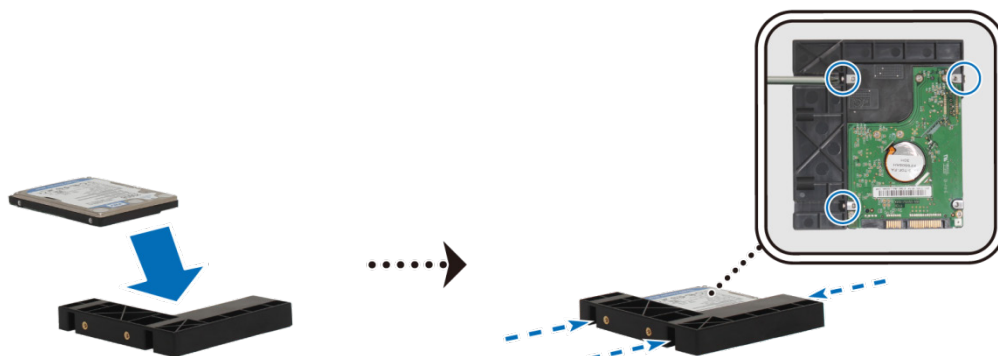
2 ハードディスクのインストール：

- **3.5"ハードディスクの場合：** ハードディスクをハードドライブベイにスライドさせて、SATA コネクタに完全に接続されるまで押し込みます。ハードディスクを付属のネジで固定します。



- **2.5"ハードディスクの場合：**

a 2.5"ディスクホルダ（タイプ C, 別売り）にハードディスクを置き、2.5" ネジでハードディスクを固定します。



- b 2.5インチ用ディスクホルダをハードドライブ用ベイにスライドさせて挿入し、ハードディスクが SATA コネクタに接続されるまで押し込みます。ディスクホルダを付属のネジで固定します。

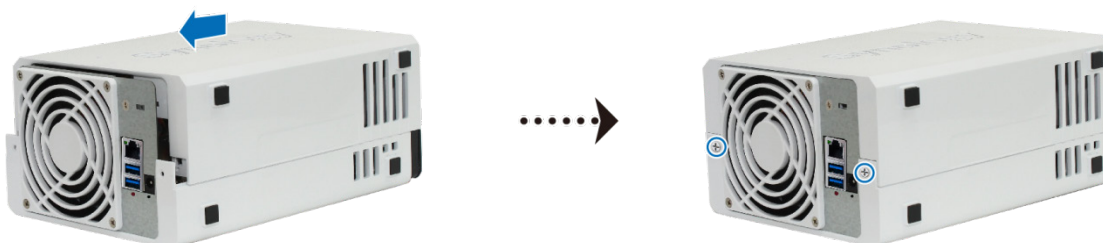


- 3 上記手順を繰り返して準備した他のハードディスクを組み立てます。
4 下図のとおり、シャーシに記載される順番でディスクを挿入してください。



注 : RAID 一式を設定する場合は、取り付けたすべてのハードディスクを同じサイズにして、ハードディスク容量を最も有効に使えるようにしてください。

- 5 上ケースを戻し、バックパネルをネジで固定します。



DiskStation を起動する

- 1 DiskStation の電源ポートに AC アダプターを接続します。AC 電源コードの端を AC 電源アダプターに接続し、もう片方をコンセントに差し込みます。
- 2 LAN ケーブルを使用して DiskStation をスイッチ/ルーター/ハブに接続します。
- 3 電源ボタンをしばらく押して、DiskStation をオンにします。



DiskStation は、オンラインとなり、ネットワークコンピュータから検知されます。

DSM を DiskStation にインストールする

ハードウェアのインストールが完了したら、まず DiskStation Manager (DSM) オペレーティングシステムを DiskStation にインストールする必要があります。インストールの方法は 2 通りあります。

最も便利な方法は、Web Assistant を使ってモバイルデバイスまたはコンピュータのウェブブラウザから DSM をインストールする方法です。Web Assistant を使用すると、最新のソフトウェアアップデートがインターネットから自動的にダウンロードされます。あるいは、Synology Assistant を使って、デスクトップから DSM をインストールすることもできます。

どちらの方法でインストールするかを決定したら、本章に記載される手順に従って DSM を DiskStation にインストールしてください。DSM をインストールした後は、ウェブブラウザから DSM にログインすると、DiskStation のすべての機能を管理できます。

Web ブラウザから DSM をインストールする

デフォルトにより、お使いの DiskStation モデルでは Wi-Fi が有効になっており、**Web Assistant** という内蔵ツールが Wi-Fi を介してワイヤレスで、または Ethernet 接続を使って有線で、DSM オペレーティングシステムを設定し、インストールするための手伝いをしてくれます。

Wi-Fi を介してワイヤレスでインストールする：

- 1 DiskStation の電源を入れて、ルーターに接続します（インターネットにアクセスして）。
- 2 **DiskStation** という Wi-Fi ネットワークが DiskStation から放送します。
- 3 コンピュータかモバイルデバイスのどちらかで、この Wi-Fi ネットワークに接続します。
- 4 コンピュータ/モバイルデバイスの Web ブラウザを使って、<http://find.synology.com> にアクセスします。
- 5 使用する Web ブラウザで Web Assistant が起動します。



- 6 **[起動]** をクリックしてセットアップ処理を開始します。画面の指示に従って処理を完了します。
- 7 セットアップが完了したら、再び <http://find.synology.com> を開き、DiskStation の場所を探します。

有線 Ethernet 接続でインストールする：

- 1 DiskStation の電源を入れて、ルーターに接続します（インターネットにアクセスして）。
- 2 DiskStation と同じネットワークに接続されたコンピュータで、<http://find.synology.com> を開きます。
- 3 使用する Web ブラウザで Web Assistant が起動します。これは LAN 内の DiskStation を検索して見つけます。DiskStation のステータスは**未インストール**になっているはずです。



- 4 **[接続]**をクリックしてセットアップ処理を開始します。画面の指示に従って処理を完了します。

注：

1. 推奨するブラウザ：Chrome、Firefox。
2. DiskStation とコンピュータはどちらも同じローカルネットワーク上になければなりません。
3. Web Assistant で DSM をインストールする間は、インターネットに接続しておかなければなりません。

インストールディスクから DSM をインストールする

付属のインストールディスクから DSM をインストールしたい場合、あるいは Web Assistant でうまくインストールできない場合は、デスクトップのユーティリティ、**Synology Assistant** を使ってインストールすることもできます。次の Windows、Mac、Linux 用のセクションをお読みください。

Windows の場合

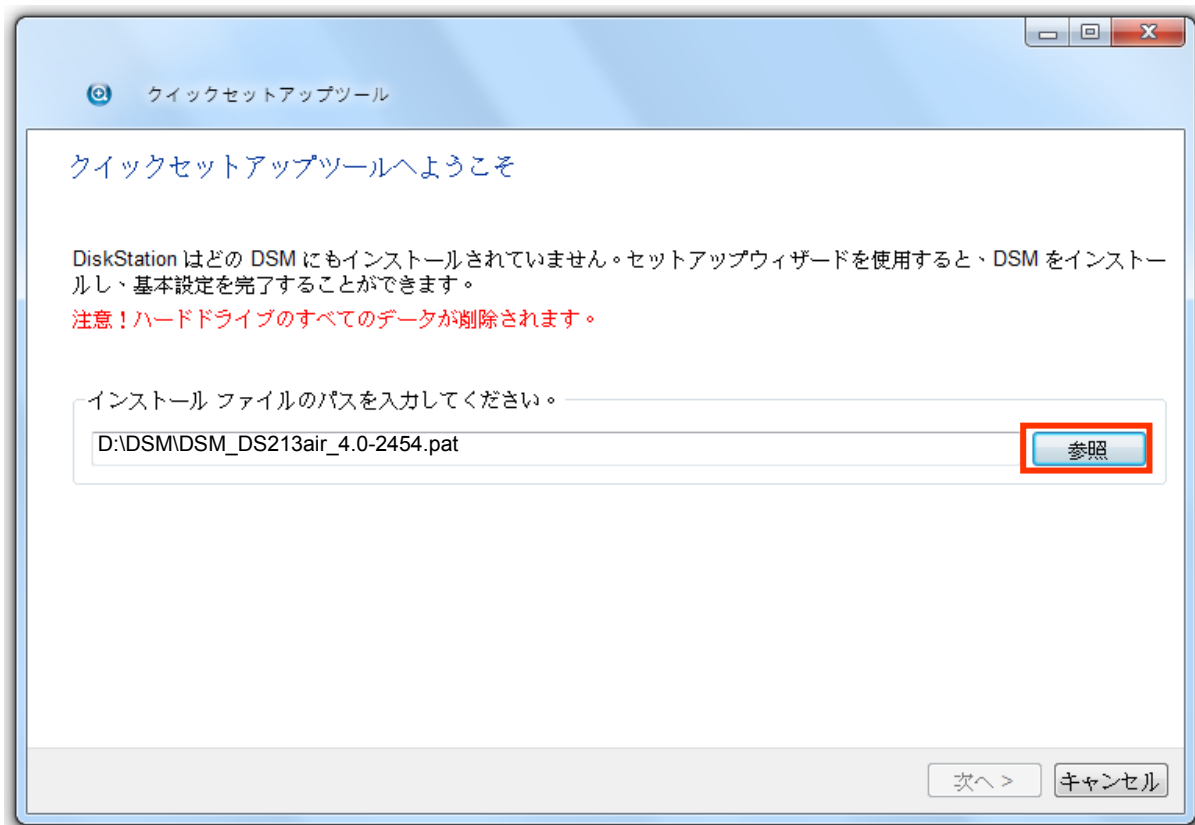
- 1 コンピュータにインストール用ディスクを挿入し、**[起動]**をクリックします。画面上の説明に従ってセットアップ処理を行います。



- 2 Synology Assistant がコンピュータにインストールされ、起動されます。これは LAN 内の DiskStation を検索して見つけます。DiskStation のステータスは**未インストール**になっているはずです。DiskStation を右クリックしてセットアップ処理を開始します。

管理							Synology	
検索 接続 マウント WOLの設定								
サーバー名	IP アドレス	IPステータス	ステータス	MACアドレス	バージョン	モデル		
DiskStation	192.168.22.210	Manual	準備完了	00:11:32:02:F1:89	4.0-2198	DS410		
DiskStation	192.168.21.79	DHCP	準備完了	00:11:32:03:75:FD	3.1-1636	DS207+		
DiskStation	192.168.21.45	Manual	準備完了	00:11:32:05:E5:6F	4.1-2518	DS1010+		
DiskStation	192.168.16.84	Manual	未インストール	00:11:32:05:E7:EE	4.0-2454	DS213air		

- 3 **[参照]**をクリックして、インストールディスクの **DSM** フォルダで **DSM_[モデル名]_[番号].pat** を探します。
また **Synology ダウンロードセンター** から最新版の DSM をダウンロードすることも可能です。



- 4 画面上の説明に従ってセットアップ処理を行います。

インストールが完了したら、SynologyDiskStation Manager (DSM) を使って DiskStation を管理できるようになります。DSM で DiskStation を管理する方法については、**Synology ダウンロードセンター** で取得可能な SynologyDiskStation ユーザーガイドを参照してください。

Mac OS X の場合

- 1 使用するコンピュータにインストール用ディスクを挿入したら、デスクトップ上の[SynologyInstall]アイコンをダブルクリックします。



- 2 表示されたウィンドウで、[MacOSX]フォルダをダブルクリックし、**Synology Assistant-[番号].dmg** をダブルクリックします。



- 3 表示されるウィンドウの[SynologyAssistant.app]をダブルクリックします。



Synology Assistant.app

- 4 「Windows からのインストール」セクションのステップ 2 から 4 に従ってセットアップを完了します。

Linux の場合

Linux 用は、**Ubuntu** バージョン 8 および 9 用に最適化されています。別のバージョンにインストールすることは可能です（評価目的に限る）。

コマンドラインからインストールする場合：

インストール用ディスク **Linux** フォルダから **install.sh** スクリプトを実行します。これにより、以下の手順を手引きします。

- 1 Synology Assistant のベータ版を削除します。（存在する場合）

```
sudo rm -rf /usr/local/Synology /usr/local/bin/SynologyAssistant
```

- 2 **SynologyAssistant-[番号].tar.gz** を「/usr/local」または「.」など、指定のディレクトリに解凍します。

```
tar -C ./ -zxvfSynologyAssistant-[番号].tar.gz
```

- 3 64bit Ubuntu を使う場合は、32bit ライブラリをインストールします。

```
sudo apt-get install ia32-libs
```

- 4 ショートカットを/usr/local/bin に作成します。

```
sudo ln -sf /path/install/SynologyAssistant/SynologyAssistant \
/usr/local/bin/SynologyAssistant
```

- 5 Synology Assistant を実行するには、以下のいずれかのコマンドが使用できます。

```
/path/install/SynologyAssistant/SynologyAssistant
```

または、次のショートカットを実行

```
/usr/local/bin/SynologyAssistant
```

`/usr/local/bin` が環境変数 `$PATH` に存在する場合は、以下を入力します。

```
SynologyAssistant
```

GUI を使用してインストールする場合：

- 1 `/usr/local` および `/usr/local/bin` に移動して、次のフォルダ（存在するもの）を削除します。

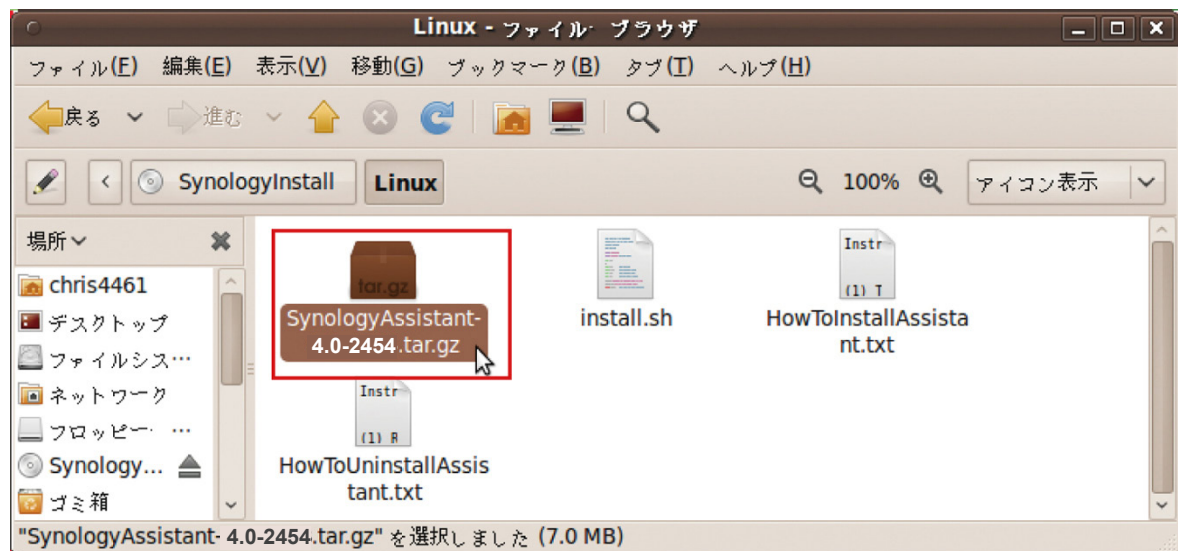
Synology、SynologyAssistant

- 2 使用するコンピュータにインストール用ディスクを挿入したら、デスクトップ上の[SynologyInstall]アイコンをダブルクリックします。

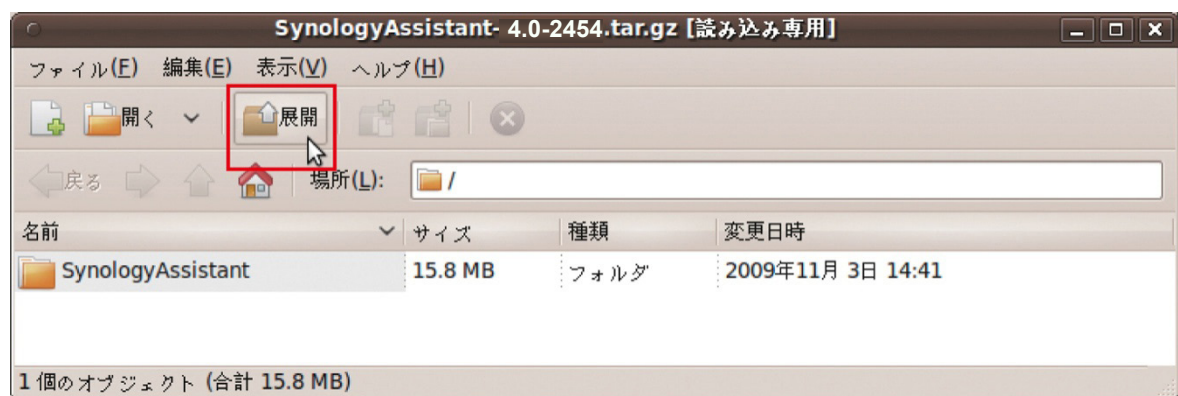


SynologyInstall

- 3 表示されるファイルブラウザウィンドウで、[Linux]フォルダをダブルクリックし、[Synology Assistant-[番号].tar.gz]をダブルクリックします。



- 4 **[展開]**をクリックして、**SynologyAssistant** ディレクトリを `/usr/local` またはその他のパスに解凍します。



重要: 64bit Ubuntu を使う場合は、処理を行う前に、必ず 32bit ライブラリをインストールしてください。インストールするには、端末に以下のコマンドを入力します:

```
sudo apt-get install ia32-libs
```

- 5 /usr/local/SynologyAssistant (または[the path you just specified]/SynologyAssistant) のパスに移動して、[SynologyAssistant]をダブルクリックしてから、表示されるダイアログボックスで**端末内で実行する**を選択します。



DSM を DiskStation にインストールする

Synology Assistant を起動したら、「Windows からのインストール」のステップ 2 から 4 に従ってセットアップを終了します。

DiskStation でワイヤレス設定を行う

デフォルトでは、DiskStation はネットワークコンピュータ、またはモバイルデバイスでワイヤレスで検出できるようになっています。ワイヤレス設定は、背面の  ボタンを使用すると、ワイヤレス設定を行うことができます。

- 1 安全性を高めるために、[Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi Protected Setup (WPS) をオン/オフにします。
- 2 このボタンを 3 秒間押したままにすると、DiskStation 上で Wi-Fi をオン/オフにします。



注： このボタンを押すと、DSM（第 3 章で概要を説明）をインストールした後でしか有効になりません。

詳細情報

完了しました。DiskStation の設定が完了しました。詳細設定に関しては、インストール用ディスクに含まれているユーザーガイドを参照してください。DiskStation に関するその他の情報やオンラインリソースに関しては、www.synology.com を参照してください。

仕様

項目	DS213air
内蔵 HDD	SATA(II) x 2
最大容量	8TB (2 X 4TB ハードドライブ)
外付け HDD インターフェイス	USB 3.0 x 2
LAN ポート	ギガビット x 1
サイズ (HxWxD) (mm)	165 X 100 X 225.5
重量 (Kg)	0.94
対応クライアント	• Windows XP 以降 • Mac OS X 10.5 以降 • Ubuntu 9.04 以降
最大ユーザーアカウント	2048
最大グループアカウント	256
最大共有フォルダ数	256
最大同時接続数	128
IP カメラによる最大サポート数	8
ファイルシステム	• EXT4 • EXT3、FAT、NTFS (外部ディスクのみ)
ボリュームタイプ	• Basic • JBOD • RAID 0 • RAID 1 • Synology Hybrid RAID (1-ディスクフォールトトレランス)
認定機関の認可	• FCC クラス B • CE クラス B • BSMI クラス B
HDD ハイバネーション	はい
電源をオン/オフに予約する	はい
Wake on LAN/WAN	はい
ローカライゼーションの言語	• English • Deutsch • Français • Italiano • Español • Dansk • Norsk • Svensk • Nederlands • Русский • Polski • Magyar • Português do Brasil • Português Europeu • Türkçe • Český • 日本語 • 한국어 • 繁體中文 • 简体中文
消費電力と環境要件	• ライン電圧: 100V ~ 240V AC • 実行頻度: 50/60Hz • 運用温度: 40 ~ 95°F (5 ~ 35°C) • 保管温度: 15 ~ 155°F (-10 ~ 70°C) • 相対湿度: 5% ~ 95% • 最大動作高度: 6500 フィート (2000 メートル)

注: モデルの仕様は予告なしに変更されることがあります。最新情報については、www.synology.com をご覧ください。

LED 表示表

LED 表示	色	状態	説明
STATUS	緑	点灯	ボリュームノーマル
	オレンジ	点灯	使用可能な空き容量< 1GB
			使用可能な空き容量< 1 %
		点滅	ボリュームの劣化または障害
			ボリュームなし
WLAN	緑	点灯	Wi-Fi インターフェイス有効
		点滅	Wi-Fi インターフェイスで検出されたトラフィック
		オフ	Wi-Fi インターフェイスがダウン
DISK 1~2	緑	点灯	ディスクの準備完了
		点滅	ディスクにアクセス中
		オフ	内蔵ディスクがありません
	オレンジ	点灯	読み取り/書き込みができません
背面の RJ45 LED	緑	点灯	10/100/ギガビットリンク
		点滅	ネットワークが動作中
		オフ	ネットワークがダウン
電源	青	点灯	利用可能
			HDD ハイバネーション（他の LED インジケータはすべてオフになります）
		点滅	起動
			シャットダウン
		オフ	電源がオフ

注：モデルの仕様は予告なしに変更されることがあります。最新情報については、www.synology.com をご覧ください。

SYNOLOGY, INC.
エンドユーザー用の使用許諾契約

必ずお読みください：このエンドユーザー用の使用許諾契約書（EULA）は、あなた（1人の個人または1つの団体のいずれか）と SYNOLOGY, INC. および SYNOLOGY AMERICAN CORP および SYNOLOGY UK LTD. を含むその関係会社（総称して「SYNOLOGY」という）の間で、[WWW.SYNOLOGY.COM](http://www.synology.com) からダウンロード可能な、あるいは SYNOLOGY 製品（以下、「製品」という）に付属またはインストールされた SYNOLOGY ソフトウェアおよびその他の関連するファームウェア、媒体、説明書、および「オンライン」または電子ドキュメント（総称して「ソフトウェア」という）について交わされる法的な契約書です。

あなたは、ソフトウェアを含むパッケージを開ける、SYNOLOGY によりプリインストールされていないソフトウェアをインストールする、またはプリインストールされたソフトウェアに含まれた製品を使用することにより、本書の利用規約に従うことに同意したと見なされます。本書の利用規約に同意しない場合は、製品の梱包を開けない、ソフトウェアをインストールしない、ソフトウェアを含む製品を使用してはいけません。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返却し、販売店の返却条件に従って返金を求めてください。

第1条. 条件付きソフトウェアライセンス。 本書の利用規約に従い、Synology は、ユーザーに、製品の許可された使用に関して、製品ソフトウェアをインストール、実行、使用するための限定付き、非独占的、譲渡不可の個人用ライセンスを許可します。

第2条. 文書。 ソフトウェアに付属のいかなる文書も適度な枚数の複製を作成し使用することができます。その複製は、社内使用に限り、第三機関に対して再発行または再配布（ハードコピーまたは電子コピーのいずれの形式においても）してはけません。

第3条. バックアップ。 ユーザーは、バックアップおよび保管目的において適切な枚数のソフトウェアの複製を作成することができます。

第4条. 更新。 元のソフトウェアを更新するまたは補足するために Synology が提供するまたは Synology のウェブサイト（www.synology.com）（以降、「ウェブサイト」という）で利用可能なソフトウェアは、その更新または補足に対して別のライセンス契約が提供される場合を除き、本書に準拠します。別のライセンス契約が提供される場合は、それに準拠します。

第5条. ライセンス制限。 第1条で制定されるライセンスは、ユーザーが注文および購入した製品の定める範囲で適用され、そのソフトウェアに対するユーザーのすべての権利を提示します。Synology は、本書において明確にユーザーに与えられていないすべての権限を保有します。前述の制限を無視して、ユーザーは第三者に対して以下の権限を与えるまたは許可してはいけません。(a) 製品に関する目的以外で本ソフトウェアを使用すること、(b) 本ソフトウェアの使用許可、配布、リース、レンタル、転写、譲渡、その他の処理、または商業目的でホストされる、またはサービスを提供する環境において本ソフトウェアを使用すること、(c) 本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、または本ソフトウェアのソースコードまたは機密情報を得るための試みを行うこと、ただし、この制限に関わらず準拠法によりそのような行動が明確に許可されている場合は除く、(d) ソフトウェアの派生物を採用、修正、改造、翻訳、または作成すること、(e) 製品の著作権表示またはその他の所有権表示を取り除く、修正する、隠すこと、(f) 製品またはソフトウェアのコンポーネント、特徴、機能へのアクセスを Synology が管理するために使用するあらゆる方法を回避、または回避しようとする。

第6条. オープンソース。 本ソフトウェアには、GNU General Public License ("GPL Components")（<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> 参照）の下で Synology にライセンス許可が与えられているコンポーネントが含まれる場合があります。GPL の条件は、本書の内容が GPL コンポーネントの使用に関して GPL の要件と衝突する場合に GPL コンポーネントに対してのみ適用され、そのよ

うな場合、ユーザーは該当コンポーネントの使用について GPL に準拠することに同意するものとします。

第7条. 監査。 Synology は、本書の利用規約に関するユーザーのコンプライアンスを監査する権利を有します。ユーザーは、Synology に、施設、設備、帳簿と記録、文書へのアクセスを許可し、Synology の監査を促進させるために適切な協力を行うことに同意します。

第8条. 所有権。 本ソフトウェアは、Synology およびライセンス契約者の価値のある資産であり、著作権法およびその他の知的財産法および条約で保護されています。Synology またはそのライセンス契約者は、本ソフトウェアが持つ、および対するすべての権利および権限を保有し、本ソフトウェアのすべての著作権およびその他の知的所有権を保有します。

第9条. 制限付き保証。 Synology は、プレインストールされているソフトウェアを除く製品のソフトウェアをインストール、またはプレインストールされているソフトウェアを使用してから 90 日間に限り、規定（「保証期間」）に従って保証しています。本ソフトウェアは、ソフトウェアに対して Synology が公開、またはウェブサイトで制定する仕様に準拠します。Synology は、商取引上の合理的な方法で、Synology 独自の決断により、ソフトウェアの不具合を修正する、または前述の保証に準拠しないソフトウェアを交換する、のいずれかを行います。ただし、この場合、保証期間内にユーザーが Synology に対して不具合を書面にて通知する必要があるとします。前述の保証は、以下を起因とする不具合には適用されません。(w) 本書に従って使用、複製、配布、公開しない場合、(x) Synology 以外の者によるソフトウェアのカスタマイズ、修正、その他の改造が行われた場合、(y) Synology 以外の者により提供された製品、サービス、またはその他の事柄とソフトウェアを併用した場合、または (z) 本書の規定に従わない場合。

第10条. サポート。 保証期間中、Synology は、ユーザーにサポートサービスを提供します。保証期間後のソフトウェアに対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

第11条. 保証の放棄。 明確に前述されている場合を除き、SYNOLOGY およびそのサプライヤーはソフトウェアを「現状のまま」、一切を購入者の責任で提供します。SYNOLOGY およびそのサプライヤーは、本書において、明示的または暗示的に関わらず、法的、法律またはその他の方法により生じる、市販性、特定目的または使用との適合性、本ソフトウェアに関する権利を侵害していないことを含みそれに限定されないその他のすべての保証を放棄します。上述の制限を除いて、SYNOLOGY は、本ソフトウェアにバグ、エラー、ウィルス、その他の不具合が生じないことを保証しません。

第12条. 特定損害の放棄。 いかなる場合も SYNOLOGY およびそのライセンサーは、ソフトウェアの使用または使用し

ないこと、または本書に規定される、または本書に関連して発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

第 13 条. 責任の制限。 本ソフトウェアの使用、または使用できないことから生じる、または関連する、または本書または本ソフトウェアに記載される、または関連する SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の保証の放棄、特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および／または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本書に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がユーザーに適用されない場合があります。

第 14 条. 輸出規制。 本ソフトウェアは、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本ソフトウェアに適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

第 15 条. 米国政府の許認可権。 米国政府に提供されるすべてのソフトウェアには、本書に記述される商用使用権および制限事項が付与されています。本ソフトウェアをインストール、コピー、または使用することにより、米国政府は、FAR Part 12 の意義の範囲内で、本ソフトウェアが「商用コンピュータソフトウェア」または「商用コンピュータソフトウェアの説明書」であることに合意します。

第 16 条. 契約の終了。 その他の権利を侵害することなく、ユーザーが本書の利用規約に従わない場合は、Synology が本書の契約を終了する場合があります。その場合、ユーザーは本ソフトウェアの使用を止め、本ソフトウェアのすべてのコピーおよびそのすべてのコンポーネントを破棄する必要があります。

第 17 条. 譲渡。 ユーザーは、本書に記載されるユーザーの権利を第三者に移譲または譲渡してはいけません。前述の制約に違反するそのような移譲または譲渡は、無効です。

第 18 条. 準拠法。 地域法で明確に禁止する場合を除き、本書は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、米国ワシントン州の法律に準拠します。1980 年に採択された国際物品売買契約に関する国際条約またはその後続は適用しません。

第 19 条. 紛争の解決。 本ソフトウェアに関して、またはユーザーと Synology との関係について Synology が提供する

本保証、本ソフトウェアまたはサービスから生じるまたは関係するいかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとします。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、ユーザーと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとします。米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取るようになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適切な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、あなたは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをあなたは理解していますが、あなたは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、この第 19 条に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。ユーザーが米国に住居しない場合、本条に記述される紛争の訴訟は、最終的に、R.O.C. 仲裁法および関連する執行機関の規則の手順に従って 3 人の仲裁者により仲裁解決されるものとします。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で行われるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本書の条項への不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

第 20 条. 弁護士費用。 本書におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

第 21 条. 契約の分離。 本書に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本書の残りの部分は有効に存続します。

第 22 条. 完全合意。 本書は、本ソフトウェアおよび本書の対象物について Synology とユーザー間の完全合意を制定し、書面または口頭に関わらず、すべての事前および同時期の了解事項および合意に優先します。本書の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力はありません。

SYNOLOGY, INC. 制限付き製品保証

本限定保証（「保証」）は、SYNOLOGY AMERICA CORP AND SYNOLOGY UK LTD. を含む SYNOLOGY, INC. およびその関連会社（総称して「SYNOLOGY」という）の製品（以下に記載）に適用されます。ユーザーは、製品パッケージの開封あるいは製品の使用により、本保証の条件に拘束されることを承諾し、同意します。本保証の条件に同意しない場合は、製品を使用しないでください。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返品し、販売店の返品規定に従って返金を求めてください。

第1条. 定義。 (a) 「カテゴリ I 製品」とは、Synology の製品モデル RS810+、RS810RP+、RX410 を示す。(b) 「カテゴリ II 製品」とは、Synology 製品モデル DS2413+、RS3412xs、RS3412RPxs、RS2212+、RS2212RP+、RS812+、RS812RP+、DS3612xs、DS1812+、DS1512+、DS712+、DS3611xs、DS2411+、DS1511+、DS1010+、DS710+、DS509+、DS508、RS812、RS212、RS3411xs、RS3411RPxs、RS2211+、RS2211RP+、RS411、RS409RP+、RS409+、RS409、RS408-RP、RS408、RS407、RX1211、RX1211RP、DX1211、DX510、DX5、RX4、RAM Module (1GB/2GB) を示します。(c) 「カテゴリ III 製品」とは、2008 年 3 月 1 日以降にお客さまが購入したその他のすべての Synology 製品モデルを示す。(d) 「カテゴリ IV 製品」とは、2008 年 2 月 29 日以前にお客さまが購入したその他のすべての Synology 製品モデルを示す。(e) 「お客さま」とは、Synology または Synology の正規代理店および販売店から製品を購入した最初の個人または団体を示す。(f) 「製品」とは、カテゴリ I 製品、カテゴリ II 製品、カテゴリ III 製品、またはカテゴリ IV 製品および Synology の製品に組み込まれるハードウェアおよび付属の文書を示す。(g) 「ソフトウェア」とは、カスタマが購入した製品に付属する、カスタマがウェブサイトからダウンロードする、または Synology の製品にプリインストールされている Synology の保有するソフトウェアで、ファームウェア、関連する媒体、画像、アニメーション、動画、オーディオ、テキスト、ソフトウェアまたは製品に組み込まれるアプレット、および該当ソフトウェアのアップデートまたはアップグレードが含まれる。(h) 「保証期間」とは、(i) お客さまが製品を購入した日から始まり、(1) カテゴリ I 製品は 5 年間、(2) カテゴリ II 製品は 3 年間、(3) カテゴリ III 製品は 2 年間、(4) カテゴリ IV 製品は 1 年間とする。(i) 「ウェブサイト」とは、www.synology.com に配置される Synology ウェブサイトを示す。

第2条. 制限付き保証と救済手段

2.1 制限付き保証。 第 2.7 条に従って、Synology は、保証期間中、各製品について (a) 製造上の材料不良がないこと、(b) 正常な使用において Synology の公開仕様に従って正しく機能することをカスタマに保証します。Synology は、製品付属のエンドユーザー用の使用許諾契約書（存在する場合）の条項に従ってソフトウェアを保証します。

2.2 製品の制限。 カスタマは、Synology に製品を登録して、ウェブサイトからカテゴリ I 製品、カテゴリ II 製品およびカテゴリ III 製品の製造日付を取得できます。ウェブサイトでは製品を登録しなくても、第 2.1 条で制定する保証の権利は軽減されません。Synology は、カスタマが製品の製造日付を識別できないことに一切責任を負いません。

2.3 唯一の法的救済手段。 カスタマが以下に説明する方法で適切な保証期間内に第 2.1 条で制定する保証の不具合を通知した場合、Synology が該当する不具合を検証した後、Synology が独自の判断で以下を行います。第 2.4 条に従って製品の完全な返却が行われた後に、(a) 商業的に適切な方法で製品を修理する、または、(b) 不具合のない製品または部品と交換します。前述は、第 2.1 条の保証不履行または製品に対するその他の不具合または欠陥に対する Synology の完全な責任であり、カスタマの唯一かつ非排他的な救済手段です。カスタマは、製品の不具合に対する Synology の診断と検証を適切に支援しなければなりません。第 2.1 条に制定す

る保証に以下は含まれません。(1) ソフトウェアに関係する保証、(2) カスタマの現場における製品の物理的な設置と取り外し、(3) カスタマの現場への訪問、(4) Synology および契約サービスプロバイダの通常営業時間（週末およびサービスプロバイダの休日を除く）以外に不具合部品の修理または交換に必要な労働時間、(5) 第三機関の設備またはソフトウェアで行う作業、(6) カスタマまたは第三機関が設置したハードディスクの保証、(7) ハードディスクの互換性保証。

2.4 返却。 第 2.3 条に従ってカスタマが返却する製品は、返却前に Synology から商品返却確認番号 (RMA) を取得し、Synology の現行の RMA 手順に従って返却しなければなりません。カスタマは、Synology 正規代理店または販売店に連絡して RMA の取得を依頼し、依頼時に購入の証明および製品のシリアル番号を提示する必要があります。保証請求の場合、本保証の対象とするため、カスタマは、第 2.4 条に従って製品を完全な状態で Synology に返却する必要があります。RMA 番号を取得せずに返却された製品、または分解された製品 (Synology の指示による場合は例外) は、受け取りを拒否され、カスタマの費用でカスタマに返送されます。RMA 番号を取得した製品は、必ず Synology から納品された状態に可能な限り近い状態で、Synology の指定する住所に、製品を十分保護できるよう梱包し、箱の外側の見える場所に RMA 番号を明記して、運賃前払いで返却してください。返却する品物が Synology に適切に配達されるまで、品物に対する保険および損失はカスタマの責任です。RMA 番号を取得した製品は、その RMA 番号を発行してから 15 日以内に必ず返送してください。

2.5 Synology による交換。 第 2.1 条に従って本保証で Synology が製品交換を選んだ場合は、Synology は、第 2.4 条に従って返品された不具合製品を受領後、その製品の保証に適合するか確認した上、自社負担で Synology の選択した配送方法により交換製品を送送します。交換製品は、新品または使用できる状態、元の製品の機能および性能と同程度の状態にあり、元の保証期間の残り期間またはカスタマに配送された日から 30 日間のいずれか長い方の期間保証されます。Synology が不具合と判断しなかった製品は、カスタマに返送されます。

2.6 サポート。 保証期間中、Synology は、カスタマにサポートサービスを提供します。保証期間後の製品に対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

2.7 例外。 前述の保証および保証義務は、(a) 製品仕様に指定または説明されていない方法によりインストールまたは使用された製品、(b) Synology またはその代理店または任命者以外により修理、修正、改正が行われた製品、(c) 何らかの方法で誤用、悪用、損傷した製品、(d) 製品が意図するデザインハードウェアまたはソフトウェア以外で Synology が提供していない品物を使用した製品、(e) その他の方法で製品の仕様に準拠していない製品、および Synology の管理下でない原因に起因する不具合には適用されません。また、前述の保証は、(1) Synology が許可した場合以外にカスタマが製品を分解した場合、(2) Synology がカスタマに対して提供する修正、改正、強化、改善、その他の更新をカスタマが実施しない場合、(3) カスタマが第三者が提供する修正、改正、強化、改善、またはその他の更新を実施、インストールまたは使用した場合には無効になります。第 2.1 条に制定す

る保証は、カスタマが第三者に販売または譲渡すると終了します。

2.8 保証の放棄。 本書に制定する SYNOLOGY の保証、義務、責任、およびカスタマの救済手段は、非排他的かつ付用であり、明示または暗示に関わらず、法律またはその他の原因により生じる、以下を含みそれに限定されない本保証の下で提供される製品、ソフトウェア付属の文書、およびその他の品物またはサービスに関連して SYNOLOGY のその他のすべての保証、義務、責任およびカスタマの SYNOLOGY に対するその他の権利、主張、救済手段を放棄、譲渡、拒否します。(A) 市販性または特定目的または使用との適合性に対する暗示保証、(B) 履行の過程、取引の過程、または商慣習により生じる暗示保証、(C) 侵害または不正利用に対する請求、または (D) 不正行為（過失、厳格責任、製品責任またはその他の理論に基づくかどうかに関わらず）に対する請求。SYNOLOGY は、SYNOLOGY の製品に保管されたデータまたは情報が安全であり、データ消失の危険がないことを保証したり具体的に放棄したりしません。SYNOLOGY は、カスタマに製品に保管するデータをバックアップするなど、適切な対策を実施するよう勧めています。州によっては、暗示保証の制限を許可しないため、上述の制限がカスタマに適用されない場合があります。

第3条。責任の制限。

3.1 不可抗力。 適切に制御できない原因または条件（カスタマの作為または不作為を含みこれに限定しない）により本保証が定める義務の不履行または遅延が発生した場合、Synology は、本保証に対して一切責任を負わない、または本保証の違反または不履行と見なされません。

3.2 特定損害の放棄。 いかなる場合も SYNOLOGY およびそのサプライヤは、製品、付属の文書またはソフトウェア、および本書に基づいて提供されるその他の品物またはサービスの使用または使用しないことにより発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

3.3 責任の制限。 本製品、付属の文書またはソフトウェア、および本保証に基づいて提供される品物またはサービスの使用、または使用できないことから生じる、SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および／または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本製品に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がカスタマに適用されない場合があります。

第4条。その他。

4.1 所有権。 本製品および製品付属のソフトウェアおよび説明書には、Synology および第三者サプライヤおよびライセンスナーの所有権および知的所有権が含まれています。Synology は、製品のすべての権利、権限、知的所有権を保有および保留します。製品、付属のソフトウェアまたは説明書、および本保証に基づいて提供されるその他の物品に含まれる、または対する権利、所有権または知的所有権は、本保証の下でカスタマに移譲されません。カスタマは、(a) Synology または Synology の正規代理店または販売店が提供するソフトウェアに付属する Synology エンドユーザー用の

使用許諾契約書の利用規約に準拠し、(b) 製品またはそのコンポーネント、付属のソフトウェアをリバースエンジニアを試みる、またはその他の方法で Synology の知的所有権に不適切に回避、または違反してはいけません。

4.2 譲渡。 カスタマは、本書に基づく自身の権利を、直接、法律の運用または他の方法により、Synology から事前に書面による承諾を得ずに譲渡してはいけません。

4.3 追加条件なし。 本保証で明確に許可した場合を除き、他の当事者が発注書、領収書、承認書、確認書、通信、その他の方法で作成した本保証のあらゆる条項、条件、条項と衝突するその他の規定に対して、両当事者が制約される、当事者の片側が特別に対象となることはありません。ただし、各当事者が書面においてそのような条項に特別に同意している場合は除きます。また、本保証が製品に関連する当事者と締結した別の契約書の利用規約と衝突する場合、他の契約書が本保証の条項に優先されることを特別に言及している場合を除き、本保証が優先されます。

4.4 準拠法。 地域法で明確に禁止する場合を除き、本保証は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、米国ワシントン州の法律に準拠します。1980年に採択された国際物品売買契約に関する国際条約またはその後続は適用しません。

4.5 紛争の解決。 本製品またはカスタマ間の関係に対して Synology が提供する本保証、製品またはサービスから生じる、または関連する、いかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとします。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、カスタマと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとします。米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取ることになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適格な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、カスタマは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをカスタマは理解していますが、カスタマは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、条項4.5に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。米国以外のお客様の場合、紛争は R.O.C. 仲裁法および関連施行規則の手順に従って3人の中立調停者により実施される仲裁により、最終的な解決が行われます。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で行われるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本保証の不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

4.6 弁護士費用。 本保証におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

4.7 輸出規制。 本製品は、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、

本製品に適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

4.8 契約の分離。 本保証に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本保証の残りの部分は有効に存続します。

4.9 完全合意。 本保証は、本件に関する Synology とお客様との間のすべての同意を制定し、あらゆるおよびすべての事前同意に優先します。本保証の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力はありません。

注意：英語版とその他の言語の説明に矛盾または不一致がある場合は、英語版を優先します。